

## 第二回 つばたふれあいカフエ

令和7年9月12日(金)

津幡町文化会館シグナスで開催し、延べ19名の参加がありました。

午前の部は津幡町健康推進課と津幡町食生活改善推進会主催の健康講座と料理教室を行いました。家庭で簡単にできる減塩調理のコツを学び、鮭缶等を使って美味しい減塩料理を作りました。午後の部は、健康体操と交流会、専門家による出張無料相談会を行いました。

次回開催予定は  
12月

次回は12月に開催の予定です。ご参加お待ちしております。

ギムニックボールで体をほぐし、交流会では、同郷ならではの思い出話で話が尽きました。専門家による相談会では、被災者の方々の生活再建にかかる相談事に金沢弁護士の弁護士と石川県生活再建支援課の職員がお答えしました。利用できる支援金制度や復興住宅のこと、今後の就労についてなど熱心に質問されていました。

計  
43名  
参加中学生  
サマー  
ボランティア

こども園にて

ボランティア団体との活動にて

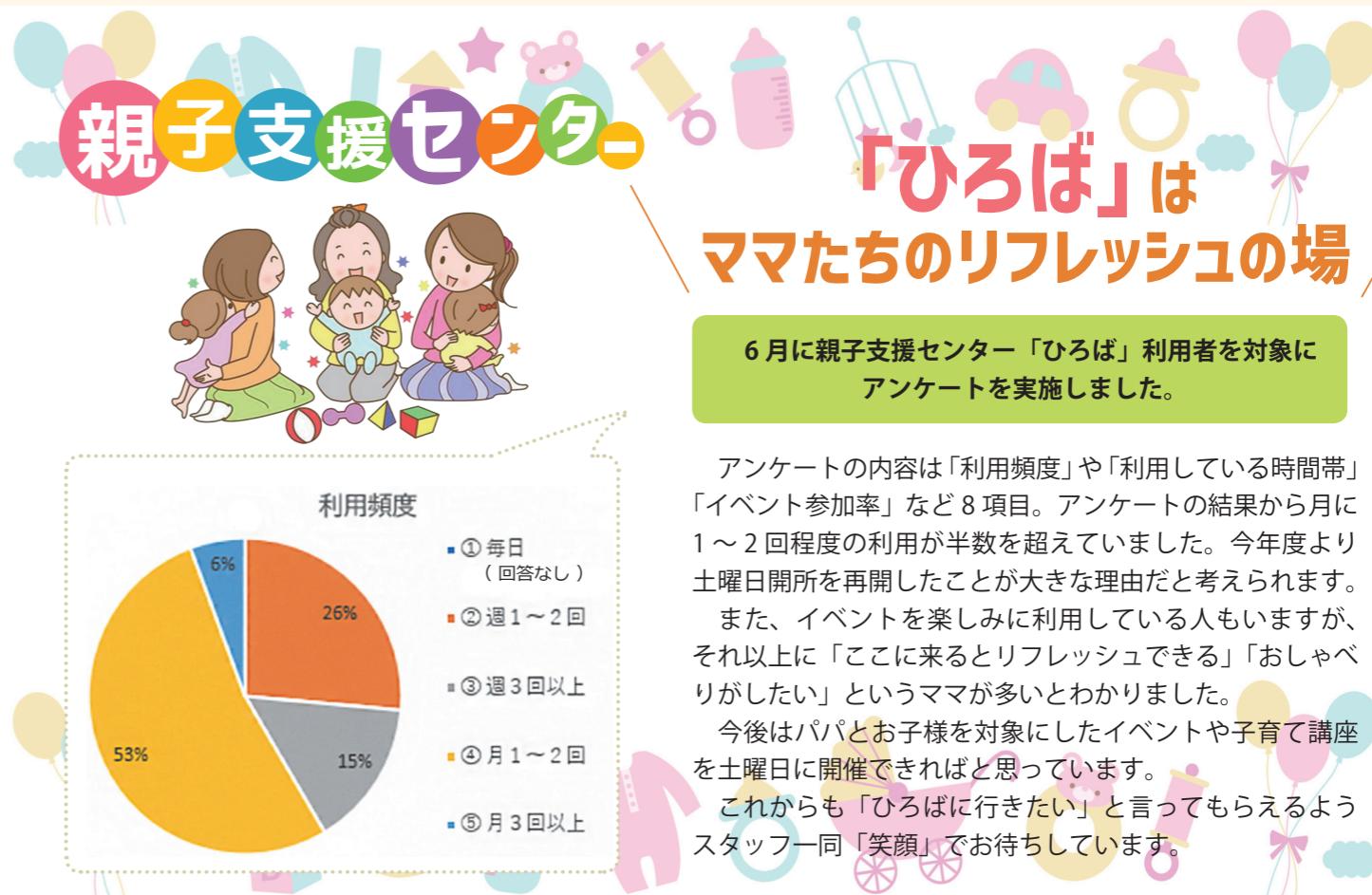
シグナス児童センターにて

高齢者施設にて

## ご挨拶

日頃より津幡町社会福祉協議会の運営並びに活動に対しましてご理解ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。私は令和7年6月24日に開催されました理事会において津幡町社会福祉協議会会长の要職を拝命いたしました。その職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでござります。令和5年7月の豪雨災害、令和6年1月の能登半島地震等自然災害の脅威に身近に接し、平常時からの助け合いや支え合い、見守り活動等の大切さを実感しております。第3期地域福祉活動計画においても基本施策として掲げております。今後も町民の皆様とともに「みんなでささえあいともに生きていくやさしいまちづくり」(津幡町社会福祉協議会の理念)に取り組んで参りたいと存じます。何卒皆様方の一層のご協力、ご支援をお願い申上げます。

新会長  
葉名 貴江



つばたまち社協だより Vol.69 発行日 / 令和7年10月  
社会福祉法人津幡町社会福祉協議会 津幡町字庄二 71番地(津幡町福祉教育プラザ内)  
tel.076-288-6276 fax.076-288-6748 <http://tsubatashakyo.main.jp/> e-mail : [info@tsubatashakyo.jp](mailto:info@tsubatashakyo.jp)



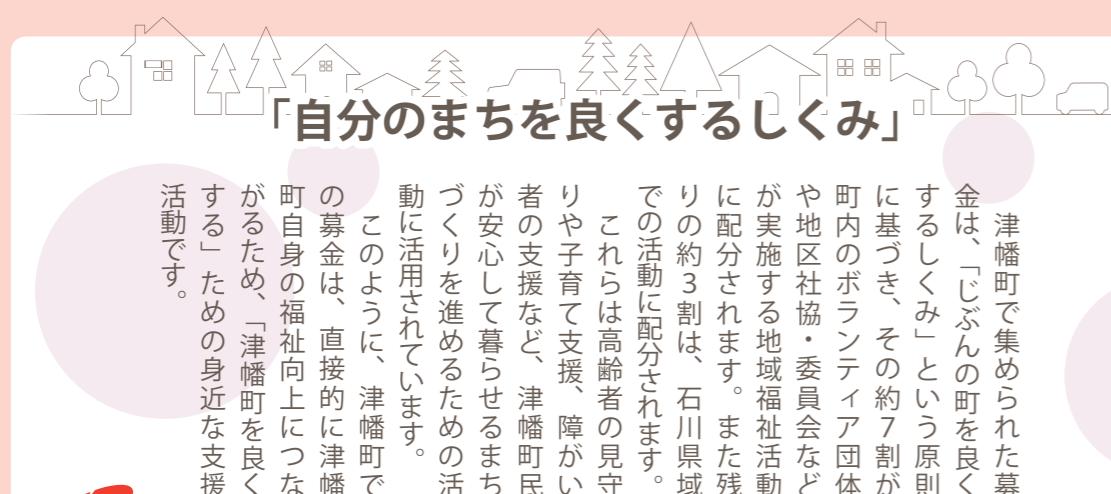
6月に親子支援センター「ひろば」利用者を対象にアンケートを実施しました。

アンケートの内容は「利用頻度」や「利用している時間帯」「イベント参加率」など8項目。アンケートの結果から月に1~2回程度の利用が半数を超えていました。今年度より土曜日開所を再開したことが大きな理由だと考えられます。

また、イベントを楽しみに利用している人もいますが、それ以上に「ここに来るとリフレッシュできる」「おしゃべりがしたい」というママが多いとわかりました。

今後はパパとお子様を対象にしたイベントや子育て講座を土曜日に開催できればと思っています。

これからも「ひろばに行きたい」と言ってもらえるようスタッフ一同「笑顔」でお待ちしています。



## 『赤い羽根共同募金運動』がスタートしました！

町内の社会福祉を目的とする団体やボランティアグループ等で、1年以上継続している福祉事業及び人とのつながりを絶やさない地域福祉活動に対して助成します。※営利目的や娯楽的な事業は不可

助成日	令和8年5月上旬
受付	1月30日(金)まで
対象	令和8年4月1日～令和9年3月31日の間に実施する活動

### 令和8年度赤い羽根共同募金 助成申請を 受付します



## 令和7年度『歳末たすけあい募金助成』

町内在住の在宅障害児者・障害施設通所者・在宅要介護者・ひとり親家庭を対象にたすけあい助成を行います。忘れずに申請して下さい。

対象	令和7年12月1日現在津幡町に居住(見込)している世帯
	①在宅障害児 ※1『特別児童扶養手当受給証明書』のある方
	②障害施設通所者 ※2『障害福祉サービス受給者証』のある方で生活介護・自立訓練・就労移行支援、就労継続支援B型利用の方
	③在宅要介護者 (要介護1～5) ※3『介護保険被保険者証』のある方
	④ひとり親世帯 ※4『ひとり親家庭等医療費受給資格証』のある世帯
助成額	最大5千円
受付	12月2日(火)まで
交付	12月下旬

5月の赤十字活動資金のご協力、ありがとうございました／

本年は津幡町全86地区より合計3,902,010円の募金をいただきました。赤十字の活動は皆様から集められた活動資金によって成り立っています。能登半島地震を含む災害支援をはじめ、救命講習会やボランティア活動などに役立てられています。

※日本赤十字社は、日本赤十字社法に基づいて設置されている独立した民間の特殊法人です。



## 共同募金

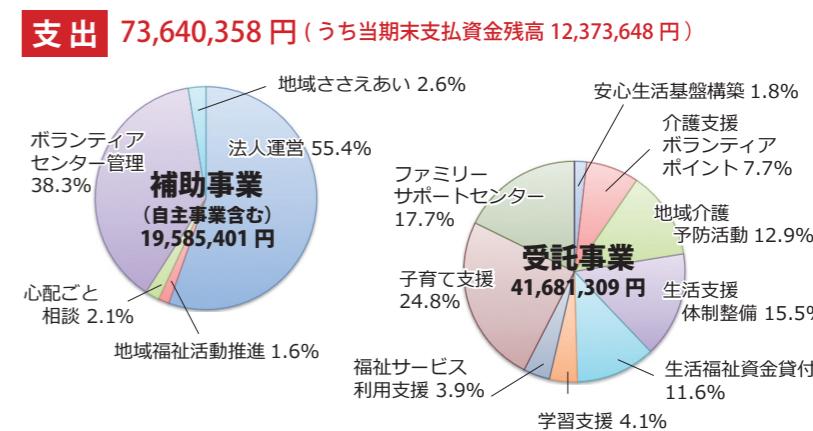
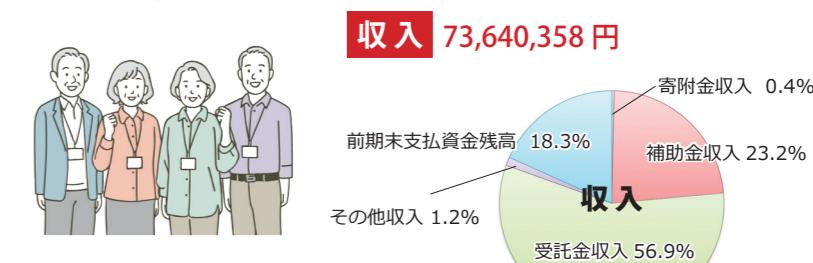


## 令和6年度 決算報告

私たちの街♥津幡町！

収入	(単位:円) 73,640,358
寄附金収入	263,406
補助金収入	17,082,804
受託金収入	41,933,733
その他収入	882,891
前期末支払資金残高	13,477,524

支出	(単位:円) 73,640,358
法人運営事業	10,856,527
地域福祉活動推進事業	313,833
心配ごと相談事業	403,944
ボランティアセンター管理事業	7,508,860
地域さえあい事業	502,237
安心生活基盤構築事業	750,583
介護支援ボランティアポイント事業	3,215,314
地域介護予防活動支援事業	5,387,770
生活支援体制整備事業	6,453,628
生活福祉資金貸付事業	4,853,161
学習支援事業	1,691,914
福祉サービス利用支援事業	1,612,082
子育て支援事業	10,327,894
ファミリー・サポート・センター事業	7,388,963
要支援対象児童見守り活動等推進事業	0
当期末支払資金残高	12,373,648



## 令和6年度 事業報告

### ◆ 法人運営事業拠点

- 法人運営事業
  - 理事会(4)・評議員会(4)・評議委員選任・解任委員会(2)監査会(1)の開催
  - たすけあい金庫貸付(5件、貸付金121千円)
  - 第16回津幡町社会福祉大会開催
  - 社協だよりの発刊(年3回発行)
  - 寄贈品の配給(件)
    - 学童保育(4)・福祉施設(5)
    - 災害見舞金拠出(2件、見舞金40千円)
    - 災害ボランティア活動支援(令和6年能登半島地震)
      - ボランティア活動延べ件数54件、現地活動延べ人数244名
      - 主な活動／倒壊したブロック塀や灯籠などの撤去・運搬
      - 公費解体前の家の片付け
  - 被災者見守り・相談支援等事業
    - 生活相談員16名、訪問世帯数211件

### ◆ 親子支援センター事業拠点

- 子育て支援事業(町委託)
  - 親子支援センター運営
    - ／児童センター利用者数(保護者4,341人、子ども4,033人)
    - 「親と子の絆づくりプログラム」4回／利用者数(保護者と子ども107組)
    - 「親子でハッピーふれあいタイム」11回／利用者数(保護者と子ども78組)
  - ファミリー・サポート・センター事業(町委託)
    - ファミリー・サポート・センター運営
      - (依頼会員55名、提供会員24名、利用件数130件)
      - 配慮家庭託児事業(140時間)
      - 子育てサポート・養成講座及び研修会の開催
  - 学習支援事業(県・町委託)
    - サマースクール(小学生延べ34人5回)
    - 学習教室(中学生延べ123人20回)



### ◆ 地域福祉活動推進事業拠点

- 地域福祉活動
  - 町内8箇所地区社協・委員会と地域の特性にあった地域づくりの推進及び活動支援
    - 生活支援連絡会、地域づくり研修会、刈安地区地域見守り勉強会
    - いきいきサロン訪問、町いきいきサロン連絡会代表者会議研修会
- 心配ごと相談事業
  - 弁護士・司法書士・行政書士無料法律相談(相談件数84件)
  - 心配ごと・行政相談(相談件数1件)
- 地域さえあい事業
  - 利用会員13人、協力会員18人、活動件数238件
- 地域介護予防活動支援事業(町委託)
  - 津幡町いきいきサロン連絡会の活動支援(サロン60箇所)
  - 各地区ネットワーク委員会による生活支援・介護予防活動の支援
- 生活支援体制整備事業(町委託)
  - 地区に必要な研修会や活動の提案、地域との連携や後方支援等
  - 生活支援連絡会の開催(2回)
- 福祉サービス利用支援事業(県社協委託)
  - 福祉サービス利用支援(延べ243回)
- 生活福祉資金貸付事業(県社協委託)
  - 相談件数25件、県社協貸付件数9件(震災特例うち8件)
- 生活困窮者向けフードバンタリー活動
  - フードバンタリーの開催(年3回)
  - 食料配布世帯(全98世帯)
- 介護支援ボランティアポイント事業(町委託)
  - 介護支援ボランティア登録者289人、
  - ポイント交換者261人、受入施設等78ヶ所
- ボランティア活動支援(災害以外)
  - ボランティア相談、斡旋、登録
    - (ボランティア登録39団体2,408人、個人6人)
    - ジュニアボランティア活動普及事業
    - 「子どもたちができるボランティア(災害編)」
      - ／津幡、中条、条南、英田、井上、太白台、刈安 計7校
      - 児童ボランティア活動普及事業協力校
      - (環境調べ隊ジョウナンジャー 誰もが関わりあえるように／条南小学校)
      - 小学生と施設交流プログラム1校
      - (条南小学校／あがたの里 車いす体験 施設利用者との交流)
      - 夏休み中学生ボランティア体験
      - ／親子支援センター行事ボランティア 延べ35人